

現行の教科の枠組みを越えた防災教育等も含める必修新教科の提案 Proposal of novel compulsory subject which is mixed Geoscience, Geography, environment, and natural disaster prevention

根本 泰雄^{1*}; 宮嶋 敏²; 畠山 正恒³
NEMOTO, Hiroo^{1*}; MIYAJIMA, Satoshi²; HATAKEYAMA, Masatsune³

¹ 桜美林大学自然科学系・東大震研(客員), ² 埼玉県立深谷第一高等学校, ³ 聖光学院中学・高等学校
¹Division of Natural Sci., J. F. Oberlin Univ., ERI(Guest), ²Saitama Prefectural Fukayadai-ichi Upper Secondary Sch., ³Seikou Gakuin Secondary Sch.

(公社)日本地球惑星科学連合(JpGU)教育問題検討委員会教育課程小委員会では、次期学習指導要領の改訂に向け、地球惑星科学に関する高等学校の教科・科目のあり方を3種類検討してきている。本発表では、これら3種類のうちの1つを報告する。

この1つは、現在ある教科の枠組みを超え、例えば、物理学、化学、生物学を含めた“地球惑星科学”と、“地理学”、“環境学”および“自然災害の防災・減災学”とを融合したような必修新教科の新設を考える案である。提案する新必修教科の教育目標は、自然科学、社会科学に基づき環境や防災・減災を自ら考え行動できる力を培うことであり、科学的リテラシーやPISA型学力を身に付けることである。

キーワード: 必修新教科, 高等学校, 地学, 地理, 防災・減災教育, 環境教育
Keywords: Novel Compulsory Subject, Upper Secondary School, Geoscience, Geography, Natural Disaster Prevention, Environment